

# 令和2年度 横浜市旭小学校「交通バリアフリー教室」の実施報告

## はじめに

- 横浜市都市整備局都市交通課は、国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局などと連携し、横浜市立旭小学校で「交通バリアフリー教室」を実施しました。
- 旭小学校周辺はバス便が多く、行先も鶴見や川崎、新横浜など多方面にわたるため、日頃からバスがよく利用されている地域の様でした。

## 1 交通バリアフリー教室の全体概要

【日時】令和2年12月15日(火)  
9:30~11:45

【対象】旭小学校 4年生 1~4組(138人)

【内容】①タクシー・バスのバリアフリーに関する座学  
②ユニバーサルデザインタクシーの機能見学  
③車いす利用体験・介助体験

【協力】国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局  
一般社団法人神奈川県タクシー協会  
東宝タクシー株式会社



- 交通バリアフリー教室は、クラスごとに分かれ、知識を学ぶ“座学”と、実際の福祉車両や車いす等を使った“体験”で構成されています。
- 座学の時間は、横浜市都市整備局都市交通課が担当し、タクシーやバスのバリアフリーのことと、それに関連する知識を学んでいただきました。
- 体験の時間では、タクシー事業者である東宝タクシー株式会社の協力のもと、2台のユニバーサルデザインタクシー(UDタクシー)を校庭に用意し、ユニバーサルデザインタクシーの機能を間近で見たり、実際に車いすに乗って車いすの操作や乗降を体験したりしていただきました。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分留意して実施しました。



## 2 「誰でも自由にお出かけできる 交通バリアフリーのおはなし」の内容

- 座学では、「誰でも自由にお出かけできる 交通バリアフリーのおはなし」と題して、パワーポイントを用いた授業を行いました。
- 同日に体験するユニバーサルデザインタクシーのこと、バリアフリー対応のバスのことなどを、クイズや質問も交えながら説明しました。
- 子どもたちは、ユニバーサルデザインタクシーは車いすを使用している方だけでなく、誰もが使える乗り物だということに驚いた様子でした。
- 車いす利用者もお年寄りも、誰もが使いやすい交通サービスを目指して取り組んでいるバリアフリーの現状と併せて、バスやタクシーなど公共交通の現状もお話しし、そのような公共交通の利用者がこのまま減ると、将来無くなってしまふ可能性があることも伝えました。
- 「もし公共交通が無くなればどんな人が困るか」、「それを防ぐためにはどうすればよいか」について、子どもたちに考えを述べてもらいました。
- 「行き先や状況に応じて公共交通を上手に使う」、「車いすを使用している方も気軽にお出かけできるようにお手伝いしてあげる」ことが大切であること、そしてそのために今できることをしてほしいことを伝え、授業を終えました。

■ 座学に使った教材

タクシーやバスのとりくみ

「ユニバーサルデザイン」タクシー

障害のある人のための特別な乗り物じゃなく、  
「誰もが、同じように使える」ということ!!

誰でも利用できて...  
みんなが同じ乗り物に乗って...  
「特別」でなくて、「普通」「当たり前」

■ 授業の様子

## おわりに

- 今回の交通バリアフリー教室を通して、車いすで移動することの大変さとともに、移動に係る介助の難しさ、大変さを肌で感じた子どもたちがたくさんいたようです。
- 子どもたちは、タクシーの運転士さんに積極的に質問しながら、バリアフリーの事だけでなく、タクシーの様々なことを学んでおり、いつも以上に公共交通のことを身近に感じたのではないかと思います。
- 交通バリアフリー教室で学んだこと、体験したことなどが生きた知識として根付き、これからもバスやタクシーなどの公共交通を上手に使い、困っている人がいたらサポートするきっかけとなることを期待します。